

周防大島の話題



▲卒業生を代表して感謝と決意をを述べる山崎紗英さん

大島看護専門学校 卒業式

3月8日、大島看護専門学校において卒業式が行われました。式では、山本幸子学校長が、「看護師は無限の知識、蓄積された技能、忍耐力、寛容さ、感受性、そして努力し続ける能力が必要です。自ら学ぶ姿勢を持ち続け、豊かな感性を磨き、チームで協働できる看護師になってほしい」と願いを伝えました。

今年度の卒業生は41人で、そのうち7人が町立病院に就職しています。

「ゆめほっぺ」初選果

3月11日、ゆめほっぺ（せとみ）の選果がJ A山口県周防大島柑橘選果場ではじまりました。

令和2年産は、寒波の被害を抑えるため、例年より約1カ月早くの収穫をJ Aから生産者に呼びかけました。各農家さんが収穫後の貯蔵管理を徹底したことも功を奏し、例年と変わらない高品質な果実に仕上がっています。

せとみは、「清見」と「吉浦ポンカン」を掛け合わせて育成された山口県オリジナル柑橘で、せとみの中でも糖度13.5度以上、酸度1.35%以下のものを「ゆめほっぺ」として出荷しています。



▲傷や形をチェックし、一つ一つ丁寧に箱詰めされるゆめほっぺ



▲新旧町長による植樹の様子（藤本町長㊦と椎木前町長㊧）

瀬戸公園に新たに3本の桜を植樹

3月15日、瀬戸公園に新たに3本の桜の苗木が植樹されました。

1本目は、山形県長井市にある「伊佐沢の久保桜」の孫桜。2本目は、岐阜県本巣市にある「淡墨桜」の孫桜。3本目は、山梨県北杜市にある「山高神代桜」の子桜です。

いずれも、天然記念物の桜の直系子孫で、周防大島・山高神代桜の会とNPO法人ふるさとづくりのん太の会が桜守の三枝基治さんから分けてもらったものです。

このたびの植樹で瀬戸公園は、天然記念物の桜の直系子孫が6本となりました。